

アイヌ伝統工芸品

北海道初の伝統的工芸品

Traditional
Ainu
Folk Crafts

日高地方・平取町二風谷の沙流川流域には、アイヌ文化に脈々と受け継がれてきた手仕事の伝統が、色濃く残されています。おもに男性の手仕事とされる木彫のうち、

多彩な文様がほどこされたお盆「イタ」、そして主に女性の手仕事である、樹皮から糸をとり織り上げる反物「アットウシ」が、二〇一二年三月、北海道で初めて経済産業省の「伝統的工芸品」に指定されました。アイヌの生活様式や精神性と合わせて、あらためて二風谷の伝統工芸、アイヌ文化に対する関心が高まっています。



二風谷アットウシ Nibutani Attus

沙流川流域の森が育むオヒョウ等の樹皮の内皮から作った糸を用いて機織りされた反物。二風谷アットウシは、特に糸に撚りをかけることが特徴と言われています。水に強く、通気性に優れ、天然繊維としては類希な強靭さと獨特な風合いがあります。着物、半纏、帯、小物等に使用されています。



二風谷イタ Nibutani Ita

沙流川流域に古くから伝わる木製の浅く平たい形状の盆。モレウノカ(うずまき・形を模したもの)などのアイヌ文様、ラムラムノカ(ウロコ・形を模したもの)と呼ばれるウロコ彫りが特徴で、沙流川地方に伝えられている彫り方です。



貝澤 徹

木彫盆 78,000円



貝澤 徹

ワインスタンド
各 13,000円



二風谷イタは、百年以上前から沙流川流域に住むアイヌの人々などによって受け継がれて来ました。十九世紀半ばには、この地域から半月盆や丸盆が献上されたという記録が残っています。現在では、伝統を受け継ぎながら、そこに独自の感性と技術を掛けさせ、自分らしさやメッセージを表現する、独創的なアイヌアートを生み出しています。



※ こちらの印がある画像、及び上記画像は、「二風谷アイヌ匠の道」(<http://nibutani.jp/>)よりご提供いただきました。